

第2世代自動電圧調整器 (SVR2G)

電圧の変動に応じて タイムリーに制御し、 電力品質を維持します。

背景・目的

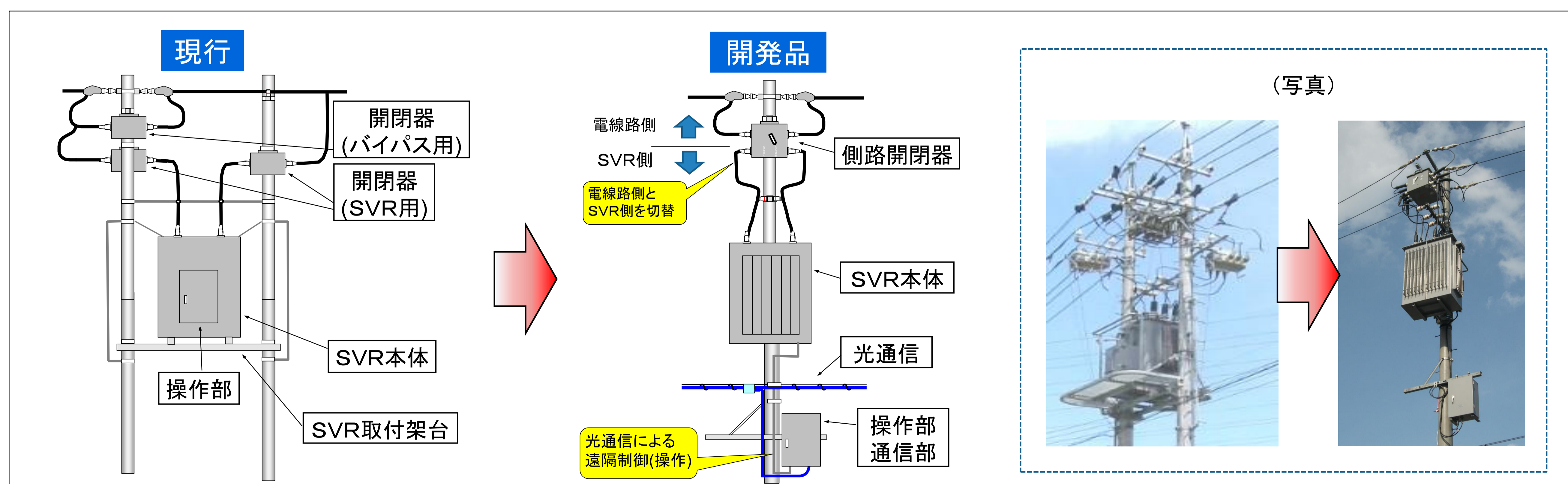
- 近年、太陽光発電設備が大量連系されることによる電圧変動や電圧上昇により、配電システムの供給電圧を適正範囲に維持するのが困難になっています。これらに対応するため、RS4・6G子局やスマートメーター等で計測した実負荷データに基づく整定値を、遠隔により設定できるSVR2Gを開発しました。さらに、本体部と操作部を分離した上、小型化・軽量化を図ることにより、電柱1本に全ての機器を取り付けできるスタイルを可能としました。

特長

- 計測情報(負荷・発電量)に基づき、遠隔でタイムリーに目標電圧や不感帯幅の変更が可能
- 電圧調整するタップ幅・点数を細かくすることにより、高精度な電圧管理が可能
- 電柱1本に取り付けできるシンプルな設置形態を実現

用途

- 太陽光発電設備が大量連系された配電系統における電力品質の維持
- 配電系統におけるSVR取替数の抑制
- 用地取得(電柱2本)困難箇所へのSVR2Gの取付



開発者の ひとこと

太陽光発電設備の出力が不規則に変動する中においても、電力品質を維持していくために、その状況に応じた柔軟な対応が求められています。現行のSVRに比べて電圧制御、設置形態の面においてスマートな対応を可能にしたのが、このSVR2Gです。